

専門分野:成人看護学

〈概要〉

成人看護学は成人期にある人を対象とした看護を学びます。成人期は青年期から壮年期を経て向老期に向かうライフサイクルのなかで最も長い時期になります。成人看護学は様々な健康障害を想定し、成人期にある人とその家族が望ましい保健行動をとり、安心して医療を受け日常生活を送り、そして人生の生活スタイルや価値観をふまえ、QOLを尊重した援助のあり方を学びます。

講義は6科目6単位180時間、臨地実習は3科目6単位270時間で構成されています。

成人看護学概論では、成人期の対象理解や心身の発達過程やライフスタイルによって生じやすい健康障害の特徴と、地域での療養生活につなぐ支援について学習します。

成人看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳでは、経過別看護と健康障害のある成人の看護について学習します。

成人看護学Ⅴでは、健康障害のある成人に対し看護を展開する方法を学習します。

〈単位〉

6単位 180時間

〈目的〉

成人期にある対象を理解し、健康の保持増進及び疾病予防と健康上の問題を判断し、看護ができる能力を養う。

〈目標〉

1. 成人期にある人を各期の発達課題、ライフスタイルから総合的に理解する。
2. 成人の健康の保持・増進や疾病の予防について理解する。
3. 成人各期における特徴的な健康上の問題について理解する。
4. 健康障害のある成人に対して、健康状態に応じた看護を理解する。

〈成人看護学の科目構成と単位時間数等〉

科目	単位	時間	年次	時期	学習内容
成人看護学概論	1	30	1	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・成人看護の対象 ・成人の保健統計と保健・医療・福祉政策 ・成人の健康状態に応じた看護
成人看護学Ⅰ	1	30	2	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・急性期看護:クリティカルケア ・周手術期看護 ・リハビリテーション看護
成人看護学Ⅱ	1	30	2	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性期看護 ・がん看護 ・脳・神経機能障害のある成人の看護
成人看護学Ⅲ	1	30	2	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸機能障害のある成人の看護 ・循環機能障害のある成人の看護 ・内分泌機能障害のある成人の看護
成人看護学Ⅳ	1	30	2	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・消化・吸収・栄養代謝機能障害のある成人の看護 ・血糖調節機能障害のある成人の看護 ・身体防御機能の障害のある成人の看護 ・体液量・電解質・酸塩基平衡・内部環境調節機能障害のある成人の看護
成人看護学Ⅴ	1	30	2	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・看護過程の事例展開 脳梗塞 腎不全 一時的導尿
合 計	6単位180時間				

科目名	科目担当者	開講時期	単位数/時間数
成人看護学概論	専任教員	1年次	1単位/30時間
科目目標			
1. 成人期にある対象を理解する。 2. 成人期にある人の看護の目的や役割を理解する。 3. 成人の健康の動向について理解する。 4. 成人の健康状態に応じた看護を理解する。			
教科書			
1) 黒江 ゆり子:新体系看護学全書 成人看護学①成人看護学概論/成人保健 メヂカルフレンド社 2) 黒田 裕子監修:看護診断のためのよくわかる中範囲理論 学研			
評価方法			
筆記試験 課題 100%			
回	単元	授業内容	授業方法
第1回	成人看護の対象:「成人」	1.成人の定義 成人期の位置	講義・演習
第2回		2.成人の特徴 成人期における発達課題 身体的・心理社会的特徴	
第3回		1)エリクソン 2)ハヴィガースト 3)レビンソン	
第4回		3. 働くこと ワークライフバランス 4. 家族 多様なライフスタイル	
第5回	成人の健康の動向と保健・医療・福祉政策	1. 保健統計からみた成人の健康の動向	講義
第6回		2. 成人各期に特徴的な健康問題	
第7回		3. 成人を対象とした保健・医療・福祉政策	
第8回	健康障害をもつ成人の生活を支える基本的な知識	健康の保持・増進のための支援	講義
第9回		1.成人期にある人々のヘルスプロモーション	
		2.健康生活を支えるための基本	
第10回		3.健康行動理論 自己効力理論/健康信念モデル	
		4.生活習慣病の予防と早期発見・治療・合併症予防	
第11回	5. 健康生活を支える基本的な視点 人間関係構築 意思決定支援、患者の権利擁護 インフォームド・コンセント		
第12回	成人の健康状態に応じた看護	6. 健康の危機状況への支援 ストレスとコーピング、危機モデル	講義・演習
第13回		7. 成人に対する学習支援 行動変容ステージモデル、自己効力感 アンドゴラジー、エンパワーメント	
		生活の再構築(リハビリテーションを必要とする)への支援	
第13回	人生の最期を迎える人と家族に寄り添う	講義	
第14回	地域・在宅への継続医療と看護	1. 障害の受容 コーンの障害受容モデル	講義
		2. リハビリテーションと看護 障害の影響、生活再構築支援、時期に応じた援助	
第14回		1. 終末期の身体的特徴	講義
		2. 死にゆく人の心理過程 悲嘆/予期悲嘆/死の受容過程理論	
第14回		3.死の判定と定義	講義
		1. 地域包括ケアシステムと入院・外来・在宅医療	
第14回		2. 入退院支援	講義
第15回		筆記試験	

科目名	科目担当者	開講時期	単位数/時間数	
成人看護学Ⅰ	専任教員 看護師	2年次	1単位/30時間	
科目目標				
1. クリティカルケアが必要な成人の看護を理解する。 2. 周手術期にある成人の看護を理解する。 3. 回復期におけるリハビリテーションを必要とする成人の看護を理解する。				
教科書				
1) 明石 恵子他:経過別成人看護学① 急性期看護:クリティカルケア メヂカルフレンド社 2) 山勢 博彰他:成人看護技術 急性・クリティカルケア看護 メヂカルフレンド社 3) 系統看護学講座 成人看護学[12]皮膚 医学書院 4) 明石 恵子他:経過別成人看護学② 周術期看護 メヂカルフレンド社 5) 落合 芙美子他:新体系看護学全書 リハビリテーション看護 メヂカルフレンド社 6) 深井 喜代子:新体系看護学全書基礎看護学③基礎看護技術Ⅱ メヂカルフレンド社 7) 任 和子:根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 第2版 医学書院				
評価方法				
筆記試験 100%				
回	単元	授業内容	授業方法	授業担当者
第1回 第2回 第3回 第4回	急性期看護:クリティカルケア	1. クリティカルな状態にある患者と家族 2. 緊急度と重症度の判断 3. BLS/ACLS 経口・経鼻エアウェイ挿入 気管挿管の介助 除細動の原理とAED 4. 熱中症、感染症、食中毒への対処 5. 熱傷	講義 校内実習	専任教員
第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回	周術期看護	1. 周術期看護とは 2. 手術前看護 意思決定支援と権利擁護 術後合併症のリスクアセスメント/術前指導/ 不安のアセスメントと援助 【ストレス・コーピング/危機理論】 3. 手術室における看護 手術体位とその影響/手術方法による影響と援助/ 麻酔方法による影響と援助/術中の安全管理 4. 手術後看護 術後回復過程 術後の疼痛管理/術後合併症の予防/ 早期回復促進への援助 呼吸方法の指導 下肢静脈血栓、肺塞栓症予防 5. 集中治療における看護	講義	専任教員
第12回 第13回 第14回	回復期のリハビリテーション看護	1. リハビリテーションを必要とする人と看護の特徴 障害受容 2. 生活機能障害と日常生活活動(ADL) 3. 国際生活機能分類(ICF)の概念 機能障害と日常生活動作のアセスメント/ 廃用症候群の予防/代償機能の獲得(活動促進に向けたADL支援、補助具の活用)/チーム連携/ 居住環境のアセスメント/身体障害者福祉法に基づく 社会資源の活用/心理的葛藤への対応	講義	看護師
第15回		筆記試験		

科目名	科目担当者	開講時期	単位数/時間数	
成人看護学Ⅱ	専任教員 看護師	2年次	1単位/30時間	
科目目標				
1. 慢性期の疾患をもつ成人の特徴と看護を理解する。 2. がん患者と家族の特徴と看護を理解する。 3. 脳・神経機能障害のある成人の看護を理解する。				
教科書				
1) 黒江 ゆり子他:経過別成人看護学③ 慢性期看護 メヂカルフレンド社 2) 神田 清子他:成人看護技術 がん・ターミナルケア メヂカルフレンド社 3) 系統看護学講座 成人看護学[7]脳・神経 医学書院 4) 福田国彦他:系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 医学書院 5) 黒田 裕子他:看護診断のためのよくわかる中範囲理論 学研				
評価方法				
筆記試験 100%				
回	単元	授業内容	授業方法	授業担当者
第1回 第2回	慢性期看護	1. 慢性期にある人と家族	講義	専任教員
第3回		2. 慢性期看護の理解 慢性期看護の機能・役割 慢性期看護の場 慢性期にある人の療養支援における多職種連携 病みの軌跡モデル		
		3. 健康学習支援 【自己効力理論/トランス・セオレティカルモデル/ アンドラゴジー/エンパワーメント/ ローカス・オブ・コントロール】		
第4回		4. 急性増悪の予防と症状緩和 急性増悪の精神的支援		
第5回	がん看護	1. がん看護 がん医療の動向と看護の役割/ がんサバイバーの理解	講義	看護師
第6回 第7回 第8回		2. 終末期にある患者の看護 疼痛アセスメントと援助 3. 化学療法の看護 抗がん薬投与時の観察と援助/ 内分泌療法時の観察と援助/ 有害事象に対する症状マネジメント/ 長期合併症のアセスメントと援助/ 外来化学療法を受ける患者への援助/ 抗がん薬の曝露対策		
第9回 第10回		3. がん放射線療法の看護 放射線照射時の観察と援助/ 有害事象に対する症状マネジメント/ 晩期合併症のアセスメントと援助/ 放射線被爆防御対策		
第11回	脳・神経機能障害のある成人の看護	1. 脳・神経機能障害の患者の看護 脳腫瘍/頭部外傷/脊髄腫瘍の患者の看護 脳血管障害(クモ膜下出血・脳出血・脳梗塞)/ 脳炎/髄膜炎/ギラン・バレー症候群/ 筋萎縮性側索硬化症(ALS)の患者の看護	講義	看護師
第12回		2. 症状に伴う看護 症状 生命維持活動調節機能障害 運動・感覚機能障害 言語機能障害 高次脳機能障害		
第13回		3. 検査・治療に伴う看護 検査 脳波検査 髄液検査 脳血管造影		
第14回		治療 開頭術/穿頭術/血管バイパス術/ 血管内治療(血栓溶解療法、動脈瘤塞栓術)/脳室ドレナージ術中/ 脳室-腹腔(V-P)シャント術/低体温療法		
第15回	筆記試験			

科目名	科目担当者	開講時期	単位数/時間数	
成人看護学Ⅲ	専任教員 看護師	2年次	1単位/30時間	
科目目標				
1.呼吸機能障害のある成人の看護を理解する。 2.循環機能障害のある成人の看護を理解する。 3.内分泌機能障害のある成人の看護を理解する。				
教科書				
1)系統看護学講座 成人看護学[2]呼吸器 医学書院 2)山勢 博彰他:成人看護技術 急性・クリティカルケア看護 メヂカルフレンド社 3)系統看護学講座 成人看護学[3]循環器 医学書院 4)深井 喜代子:新体系看護学全書基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ メヂカルフレンド社 5)系統看護学講座 成人看護学[6]内分泌・代謝 医学書院				
評価方法				
筆記試験 課題 100%				
回	単元	授業内容	授業方法	授業担当者
第1回 第2回 第3回 第4回	呼吸機能障害のある成人の看護	1.酸素化障害/換気障害/呼吸運動障害の患者の看護 肺炎・肺がんの患者の看護 2.症状に伴う看護 3.検査・治療に伴う看護 検査 気管支鏡検査/ 胸腔穿刺(低圧持続吸引:胸腔ドレーン挿入・挿入中の管理・抜去)/呼吸機能検査/ 動脈血液ガス分析	講義	看護師
第5回 第6回 第7回		4.人工呼吸療法・気管切開 フィジカルアセスメント、吸引 気管内加湿 気管内吸引/口腔内・鼻腔内吸引 人工呼吸器:ウィーニング 人工呼吸器:抜管・気管切開チューブ抜去 呼吸理学療法:体位ドレナージ、スクイーミングなど	講義 校内実習 デモ	専任教員
第8回 第9回 第10回 第11回 第12回	循環機能障害のある成人の看護	1.ポンプ機能障害/刺激伝導障害/血管・リンパ管障害の患者の看護 心不全(慢性心不全含む)/虚血性心疾患(特に心筋梗塞)/弁膜症/不整脈/閉塞性動脈硬化症(下肢動脈閉塞症)の患者の看護 2.症状に伴う看護 3.検査・治療に伴う看護 検査 心臓カテーテル検査/心血管造影検査/ 心臓超音波検査 経皮的冠動脈形成術<PCI> 治療 大動脈内バルーンパンピング<IABP> モニタリング(循環機能のアセスメント、 肺動脈カテーテル挿入・管理・抜去含む) 血栓溶解療法・血栓除去術 ペースメーカー 弁置換術・弁形成術	講義	看護師
第13回 第14回	内分泌機能障害のある成人の看護	1.甲状腺機能障害/下垂体機能障害の患者の看護 甲状腺疾患(甲状腺機能亢進症・甲状腺機能低下症)/ 甲状腺腫瘍(甲状腺癌)の患者の看護 2.症状に伴う看護 3.検査・治療に伴う看護 検査 ホルモン負荷試験/ホルモン血中・尿中濃度測定検査 治療 甲状腺ホルモン療法/甲状腺切除術	講義	専任教員
第15回		筆記試験		

科目名	科目担当者	開講時期	単位数/時間数	
成人看護学Ⅳ	専任教員 看護師	2年次	1単位/30時間	
科目目標				
1. 消化・吸収・栄養代謝機能障害のある成人の看護を理解する。 2. 血糖調節機能障害のある成人の看護を理解する。 3. 身体防御機能の障害のある成人の看護を理解する。 4. 体液量・電解質・酸塩基平衡・内部環境調節機能障害のある成人の看護を理解する。				
教科書				
1) 系統看護学講座 成人看護学[5]消化器 医学書院 2) 系統看護学講座 成人看護学[6]内分泌・代謝 医学書院 3) 系統看護学講座 成人看護学[4]血液・造血器 医学書院 4) 系統看護学講座 成人看護学[11]アレルギー 膠原病 感染症 医学書院 5) 系統看護学講座 成人看護学[12]皮膚 医学書院 6) 系統看護学講座 成人看護学[8]腎・泌尿器 医学書院				
評価方法				
筆記試験 100%				
回	単元	授業内容	授業方法	授業担当者
第1回 第2回 第3回 第4回	消化・吸収・栄養代謝機能障害のある成人の看護(上部消化管)	1. 咀嚼・嚥下機能障害/上部消化管機能障害/膵液分泌障害/胆汁分泌障害の患者の看護 食道癌/胃癌/肝癌/胆石症/十二指腸潰瘍の患者の看護 2. 症状に伴う看護 3. 検査・治療に伴う看護 検査 上部消化管内視鏡検査(食道・胃・十二指腸内視鏡)/腹部超音波/肝生検/腹腔鏡 治療 肝庇護療法(安静保持の援助)/インターフェロン療法 食道切除術/胃切除術/ 腹腔鏡視下手術 経静脈栄養法/手術後ドレナージ 胆道・胆のうドレナージ	講義	専任教員
第5回 第6回	(下部消化管)	1. 下部消化管機能障害の患者の看護 大腸癌/潰瘍性大腸炎・クローン病/ 脂質異常症の患者の看護 2. 症状に伴う看護 3. 検査・治療に伴う看護 検査 大腸内視鏡検査/消化管造影/ 直腸診/CT/MRI 治療 人工肛門造設術 看護 ストーマ管理	講義	看護師
第7回 第8回 第9回	血糖調節機能障害のある成人の看護	1. 血糖調節機能障害の患者の看護 1型糖尿病・2型糖尿病の患者の看護 2. 症状に伴う看護 3. 検査・治療に伴う看護 検査 糖負荷試験(OGTT)、 血糖自己測定(SMBG) 治療 インスリン補充療法/ 糖尿病経口薬による治療 食事・運動療法	講義	看護師
第10回 第11回	身体防御機能の障害のある成人の看護	1. 皮膚粘膜障害/免疫機能障害の患者の看護 アレルギー性疾患/自己免疫疾患/ 血液悪性疾患のある患者の看護 ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症 2. 症状に伴う看護 3. 検査・治療に伴う看護 検査 スキンテスト 生検(粘膜、皮膚)、骨髄穿刺 治療 抗HIV療法/減感作療法/ 免疫抑制薬・ステロイド療法 造血幹細胞移植	講義	看護師

第12回	体液量・電解質・酸塩基平衡・内部環境調節機能障害のある患者の看護	1. 体液量調節機能障害/電解質調節機能障害/酸塩基平衡調節機能障害の患者の看護 急性・慢性腎不全/慢性腎臓病/腎移植後の患者の看護 2. 症状に伴う看護 3. 検査・治療に伴う看護 検査 腎生検/静脈性尿路造影 治療 急性期持続血液濾過透析/血液透析/腹膜透析(CAPD)/腎移植 4. 退院調整とチーム連携 5. 医療費助成制度/患者会の活用と支援 6. 透析を受ける患者の看護	講義	看護師
第13回				
第14回			演習	
第15回	筆記試験			

科目名	科目担当者	開講時期	単位数/時間数	
成人看護学Ⅴ	専任教員	2年次	1単位/30時間	
科目目標				
1. 事例を通して、健康障害をもつ成人の看護過程を理解する。 2. 排泄の援助技術を学ぶ。				
教科書				
1) 黒江 ゆり子他:経過別成人看護学③ 慢性期看護 メヂカルフレンド社 2) 黒田 裕子他:看護診断のためのよくわかる中範囲理論 学研 3) 系統看護学講座 成人看護学[6]内分泌・代謝 医学書院 4) 系統看護学講座 成人看護学[8]腎・泌尿器 医学書院 5) 系統看護学講座 成人看護学[7]脳・神経 医学書院 6) 江川 隆子:ゴードンの機能的健康パターンに基づく 看護過程と看護診断 スーヴェルヒロカワ 7) T. ヘザー・ハードマン他:NANDA-I看護診断 医学書院 8) 深井 喜代子:新体系看護学全書基礎看護学③基礎看護技術Ⅱ メヂカルフレンド社 9) 任 和子:根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 第2版 医学書院				
評価方法				
課題 100%				
回	単元	授業内容	授業方法	授業担当者
第1～6回	看護過程の展開	慢性期にある成人の看護過程 事例の情報収集 事例のアセスメント・看護問題 事例の看護診断の特定(関連図) 事例の看護計画立案 事例:腎不全など 生活を自己管理するための援助	講義 演習 課題提出	専任教員
第7～13回		回復期でリハビリテーションが必要な成人の看護過程 事例の情報収集 事例のアセスメント・看護問題 事例の看護診断の特定(関連図) 事例の看護計画立案 事例:脳梗塞など ADLの維持・拡大に向けた援助 障害受容	講義 演習 課題提出	専任教員
第14回	排泄の援助技術	事例患者の一時的導尿 持続的導尿	校内実習 課題提出	専任教員
第15回				

科目名	科目担当者	開講時期	単位数/時間数
成人・老年看護学実習Ⅰ	専任教員	3年次	2単位/90時間
履修条件			
基礎看護学実習Ⅱ及び地域・在宅看護論実習Ⅰを修了していること。成人看護学概論・老年看護学概論を修了し、成人看護学Ⅰ・成人看護学Ⅱ・成人看護学Ⅲ・成人看護学Ⅳ・成人看護学Ⅴと、老年看護学Ⅰ・老年看護学Ⅱ・老年看護学Ⅲを終了していること。			
科目目標			
目的：健康障害をもつ成人期又は老年期の患者と家族の特性を理解し、対象に応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。			
目標：1. 健康障害をもつ成人期の患者と家族を理解する。 2. 健康障害をもつ老年期の患者と家族を理解する。 3. 健康障害をもつ成人期の患者の看護を実施する。 4. 健康障害をもつ老年期の患者の看護を実施する。 5. 保健・医療・福祉チームにおける協働・連携の必要性和看護の役割について理解する。 6. 専門職業人をを目指す者としての学習姿勢・態度をもつ。			
実習場所	評価方法		
浅ノ川総合病院 病棟	実習内容、カンファレンス、リフレクション、実習記録、実習態度、事前学習等から総合的に判断する。		
授業計画			
1. 実習期間および実習時間 学内：2時間(オリエンテーション) 臨地：1日8時間 10日間 学内：1日8時間(リフレクション)			
2. 実習方法			
1) 健康障害をもつ成人・老年期の患者を1名受け持ち、看護過程を展開する。 2) 中間カンファレンスでアセスメントの内容・看護診断・計画立案が適切か検討する。 3) 最終カンファレンスで実施した看護を振り返り、評価する。 4) リフレクション(学内実習)			
実習ローテーション			
1日目	病棟オリエンテーション、情報収集		
2～3日目	情報収集、情報の整理		
4～5日目	全体像の把握、看護診断、看護計画、中間カンファレンス		
6～9日目	看護計画の実施 看護計画の修正・変更・評価		
10日目	看護計画の実施 看護計画の修正・変更・評価、最終カンファレンス		
11日目	リフレクション(学内実習)		
その他、詳細は実習要項参照			

科目名	科目担当者	開講時期	単位数/時間数
成人・老年看護学実習Ⅱ	専任教員	3年次	2単位/90時間
履修条件			
基礎看護学実習Ⅱ及び地域・在宅看護論実習Ⅰを修了していること。成人看護学概論・老年看護学概論を修了し、成人看護学Ⅰ・成人看護学Ⅱ・成人看護学Ⅲ・成人看護学Ⅳ・成人看護学Ⅴと、老年看護学Ⅰ・老年看護学Ⅱ・老年看護学Ⅲを終了していること。			
科目目標			
目的：健康障害をもつ成人期又は老年期の患者と家族の特性を理解し、対象に応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。			
目標：1. リハビリテーションを必要とする成人期の患者と家族を理解する。 2. リハビリテーションを必要とする老年期の患者と家族を理解する。 3. リハビリテーションを必要とする成人期の患者の看護を実施する。 4. リハビリテーションを必要とする老年期の患者の看護を実施する。 5. 保健・医療・福祉チームにおける協働・連携の必要性と看護の役割について理解する。 6. 専門職業人を目指す者としての学習姿勢・態度をもつ。			
実習場所		評価方法	
金沢脳神経外科病院 (病棟 SCU)		実習内容、カンファレンス、リフレクション、実習記録、実習態度、事前学習等から総合的に判断する。	
授業計画			
1. 実習期間および実習時間 学内：2時間(オリエンテーション) 臨地：1日8時間 10日間 学内：1日8時間(リフレクション)			
2. 実習方法			
1) 病棟実習：9日間			
1) リハビリテーションを必要とする成人・老年期の患者を1名受け持ち、看護過程を展開する。			
2) 中間カンファレンスでアセスメントの内容・看護診断・計画立案が適切か検討する。			
3) 最終カンファレンスで実施した看護を振り返り、評価する。			
2) SCU実習：1日間			
1) SCUで急性期看護を見学し、集中治療室の看護の役割と機能を学ぶ。			
3) リフレクション(学内実習)：1日間			
実習ローテーション			
1日目	病棟オリエンテーション、情報収集		
2～3日目	情報収集、情報の整理		
4～5日目	全体像の把握、看護診断、看護計画、中間カンファレンス		
6～9日目	看護計画の実施 看護計画の修正・変更・評価、最終カンファレンス		
10日目	SCU		
11日目	リフレクション(学内実習)		
その他、詳細は実習要項参照			

科目名	科目担当者	開講時期	単位数/時間数								
成人・老年看護学実習Ⅲ	専任教員	3年次	2単位/90時間								
履修条件											
基礎看護学実習Ⅱ及び地域・在宅看護論実習Ⅰを修了していること。成人看護学概論・老年看護学概論を修了し、成人看護学Ⅰ・成人看護学Ⅱ・成人看護学Ⅲ・成人看護学Ⅳ・成人看護学Ⅴと、老年看護学Ⅰ・老年看護学Ⅱ・老年看護学Ⅲを終了していること。											
科目目標											
<p>目的： 特殊な治療を受ける成人期又は老年期の患者と家族の特性を理解し、対象に応じた看護を学ぶ。</p> <p>目標： 1. 特殊な治療(手術療法、透析療法、集中治療)を受けている成人期の患者を理解する。 2. 特殊な治療(手術療法、透析療法、集中治療)を受けている老年期の患者を理解する。 3. 特殊な治療を受ける成人期の患者の看護を理解する。 4. 特殊な治療を受ける老年期の患者の看護を理解する。 5. 専門職業人を目指す者としての学習姿勢・態度をもつ。</p>											
実習場所		評価方法									
心臓血管センター金沢循環器病院 病棟 HCU 浅ノ川総合病院	透析室 手術室	実習内容、実習記録、実習態度、事前学習等から総合的に判断する。									
授業計画											
<p>1. 実習期間および実習時間 学内:2時間(オリエンテーション) 臨地:1日8時間 11日間</p> <p>2. 実習方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 各種検査・治療に伴う看護の実際を見学する。 2) 手術療法の実際を見学し、看護師の役割を理解する。 3) 集中治療の実際を見学し、看護の役割を理解する。 4) 透析療法の実際を見学し、看護の役割を理解する。 5) 2)3)4)は、実習最終日にカンファレンスを行う。 <p>実習ローテーション</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>2日間</td> <td>病棟</td> </tr> <tr> <td>3日間</td> <td>集中治療室(HCU)、カンファレンス</td> </tr> <tr> <td>4日間</td> <td>手術室、カンファレンス</td> </tr> <tr> <td>2日間</td> <td>透析室、カンファレンス</td> </tr> </tbody> </table> <p>その他、詳細は実習要項参照</p>				2日間	病棟	3日間	集中治療室(HCU)、カンファレンス	4日間	手術室、カンファレンス	2日間	透析室、カンファレンス
2日間	病棟										
3日間	集中治療室(HCU)、カンファレンス										
4日間	手術室、カンファレンス										
2日間	透析室、カンファレンス										